

新型コロナウイルス感染拡大に伴う いじめ未然防止に向けた道徳科の授業について

※ ここに掲載されております動画は、限定公開としております。

動画のアドレスを、SNS等に投稿しないようお願いいたします。

○ 指導における留意点

- ① 悪いと分かっているにもかかわらず同調してしまったり、自己中心的で公正、公平に接することができなかつたりすることは、誰もがもっている人間の弱さです。道徳科の授業では、これらの、人間の弱さにも向き合い、不安や迷いを抱えながらもそれらを乗り越え、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。
- ② 学校教育全体を通して、偏見による差別やいじめはいけないうことだと毅然とした指導を充実させていくことは重要です。しかし、道徳科の授業では、道徳的価値についての単なる知的理解に終始したり、行為の仕方を指導したりする時間ではなく、偏見による差別やいじめにかかわる道徳的問題を自分事として見つめ、自分の生き方・在り方についての考えを深めていくことが大切です。
- ③ 学級、学校、地域の実態によっては、道徳科の授業で、本教材を扱うことが適さない場合もあります。各校で実態を踏まえ「公正、公平、社会正義」の内容項目の学習を実施してください。
- ④ 偏見による差別やいじめにかかわる問題は家庭との連携が大切です。本教材を道徳科の授業で活用し、授業後の子どもの振り返りを家庭へ伝えたり、家族と一緒に考えたことを基に授業をしたりするなど、様々な方法で発信し、家庭との連携を推進してください。

○ ねらい

新型コロナウイルス感染症にかかわる問題場面に対して、自分との関わりで考え、向き合い、どのようなことが人を傷つけ、偏見による差別やいじめにつながるのか、自分なりの考えをもつことを通して、誰に対しても、公正・公平に接しようとする心情や態度を育てる。

1 小学校低学年向け動画

<https://youtu.be/2wiTw2ueWNk>

なお、当動画の内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。また、各種 SNS、web サイト等への引用を厳禁といたします。

2 資料

次ページへ

みきさんと わたしは なかよしです。

みきさんは、うまれつき ぜんそくという びょうきが あって、くすりを のんで います。いつもは げんきだけれど、ときどきせきが ひどくなる ことが あります。

「ごほん、ごほん。」

きょうは、せきが つらそうです。



すると、たくまくんが

「うわあ、せきしてる。おまえ コロナだろ。」

と 言って、つくえを はなしました。だれかが、

「ちかくに いると うつるよ。」

と クラスみんなに きこえるように
いいました。

みきさんは、わたしの かおを じっと
みつめました。わたしは、なにも いえま
せんでした。



みんなが、みきさんから はなれようと したとき、みきさんは、
きっぱりと いいました。

「わたし、ぜんそくなんだよ。ちゃんと びょういんにも いったい
るし、うつるものではないよ。」

そのかおは、おこっているようにも、かなしそうにも みえました。

すると、だいすけくんが ちかづいてきて、

「ぜんそくって つらいよね。うちの おとうとも、 ぜんそくなん
だ。でも、まいにち なんかいも けんかするほど げんきだけど
ね。」

と おおきなこえで わらいました。その
わらいごえは、みんなの わらいごえに
なって、きょうしつに おおきく ひびき
ました。たくまくんも、そっと つくえを
もどしました。



そのひの かえりみち。みきさんを みつけた わたしは、みきさ
んに こえを かけました。

「ねえ、みきさん！」

